

防食性と旧塗膜に対する付着性に優れた 簡易補修塗装用エアゾールスプレー

一液形変性エポキシ樹脂塗料

SRi防食スプレー-K

弱溶剤タイプ



 関西ペイント

■特許第4562345号
(株)四国総合研究所との共同開発品

日常点検時の簡易補修塗装用エアゾールスプレー 反応硬化形変性エポキシ樹脂系防食塗料

SRI防食スプレーK

■特長

- 簡便性:**エアゾールタイプなので、現地で簡単に補修塗装ができる。
- 高防食性:**反応硬化形変性エポキシ樹脂塗料なので優れた防食性を発揮する。
- 旧塗膜適性:**旧塗膜に対する付着性などの適性に優れる。
(旧塗膜が塩化ゴム系塗膜の場合には試し吹きを行ってください。)

■用途

送電鉄塔、鋼構造物の簡易補修用

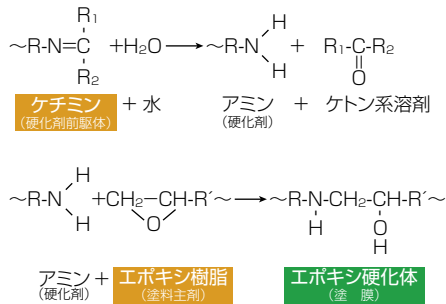
■塗料性状

荷 姿	300ml
色	グレー
高 圧 ガ ス	D.M.E
労安法上の表示有害物	キシレン、メチルイソブチルケトン
使用有機溶剤種別	第3種有機溶剤等
消防法による危険物区分	第4類 第1石油類 危険等級Ⅱ 火気厳禁
基発477	エポキシ樹脂、ケチミン

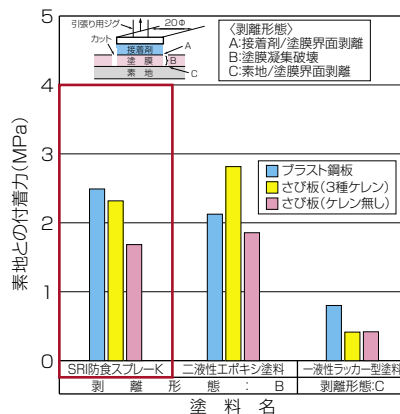
■塗膜性能

一液性反応硬化型塗料の反応機構

SRI防食スプレーKの反応機構



付着性:アドヒージョンテスト結果



防食性:塩水噴霧試験(100hr)

塗料名	塗膜厚 (μm)	○変化なし △発錆小 ×発錆大/ふくれ			
		プラスト鋼板	さび板 (2種ケレン)	さび板 (3種ケレン)	溶融亜鉛メッキ鋼板
SRI防食スプレー	80	○	○	○	○
	40	○	○	○	○
二液性エポキシ塗料	80	○	○	○	○
	40	○	○	○	○
一液性ラッカー型塗料	80	△	△	×	△
	40	△	×	×	×

■注意事項

- 予 防 策**
 - 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
 - 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
 - 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
 - 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
 - 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
 - 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
 - 本来の目的以外に使用しないこと。
 - 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
 - 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
 - 取り扱い後は、洗顔・手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
 - 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
 - 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 対 応**
 - 目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 - 皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷がある場合は、医師の診察を受けること。
 - 吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
 - 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
 - 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
 - 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保 管**
 - 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
 - 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
 - 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃 棄**
 - 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

*その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)をご参照ください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934
北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223
東京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935

中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603
中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

*製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用命は